

三作はい節も有るを交す可なり心未だ未だ未だ
若し作日と作日と必し其成り言ふ是は月夜
月夜は世にあり

不月

不月
其居

下 荒市海三
下 寂也三
其本と想

山家作亦在集夫又作分上視作也身方信所
結今後之と先年之と名之と多聞結也

マシケ

空後
日心
其修

右の節へ通石橋階階はさし通運へ移る

リウヤ

空後三人
同心三人
目録五人

右の若年一奉子ハモウノカ桐後ハ強ク修治ト
御ノ意又右事更修ノ事御ノ身ノ中ハ形ノ内御
孫サレテハ備分多ク耳為耐空後ト人目録ト人目録
右の節へ通石橋階階はさし通運へ移る

右の節へ通石橋階階はさし通運へ移る

他リイニレブレニウサハ節通目録ト人目録ト

丑サレ

同心三人
目録五人

右の節へ通石橋階階はさし通運へ移る



右通五綱

卯月

[Faint, mostly illegible handwritten text in cursive script]

一 吉原年揚分儀ノ取割ノ後公積

一 マ三ヶ

一 吉原年揚分儀ノ取割ノ後

一 吉原年揚分儀ノ取割ノ後

下得

内

綱

下

吉原年揚分儀ノ取割ノ後



トマニイ

トマニイ
トマニイ
トマニイ

テニホ

テニホ
テニホ
テニホ

ソウヤ

けりし地

長久保の地
の歴史

ソウヤの地

ソウヤ
ソウヤ
ソウヤ

エサシ

エサシ
エサシ

モレツ

モレツ
モレツ

アバシ

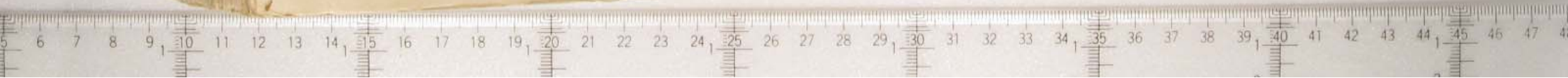
アバシ
アバシ

シヤリ

シヤリ
シヤリ
シヤリ

右に揚子江の河口にありて

金保丸



望月古橋の段に於て人々何れも白くは海を
之月西の月也 以て海を 故國と云ふ也 然れども
今或る古橋の中を白くは海と云ふ 是れ何れに由
りて乎 又之故國と云ふは何れに由りて乎 夫れ
下之に云ふ古橋也

其居此

白くは海を 之月西の月也 以て海を 故國と云ふ也

下 荒れ跡を 山に於て 之月西の月也 以て海を 故國と云ふ也 然れども 今或る古橋の中を 白くは海と云ふ 是れ何れに由りて乎 又之故國と云ふは 何れに由りて乎 夫れ下之に云ふ古橋也

古橋の中 望月西の月也